

Hello! FUJISEI

No.207

“少子化”が止まらない！

こどもが33年連続で減少、過去最低更新

こどもが生まれて喜ぶ夫婦の姿を身近に見ることが多いのですが、全体的にはこどもが減っています。

総務省統計局では、5月5日の「こどもの日」にちなんで、平成26年4月1日現在におけるこどもの数（15歳未満人口）を推計しました。

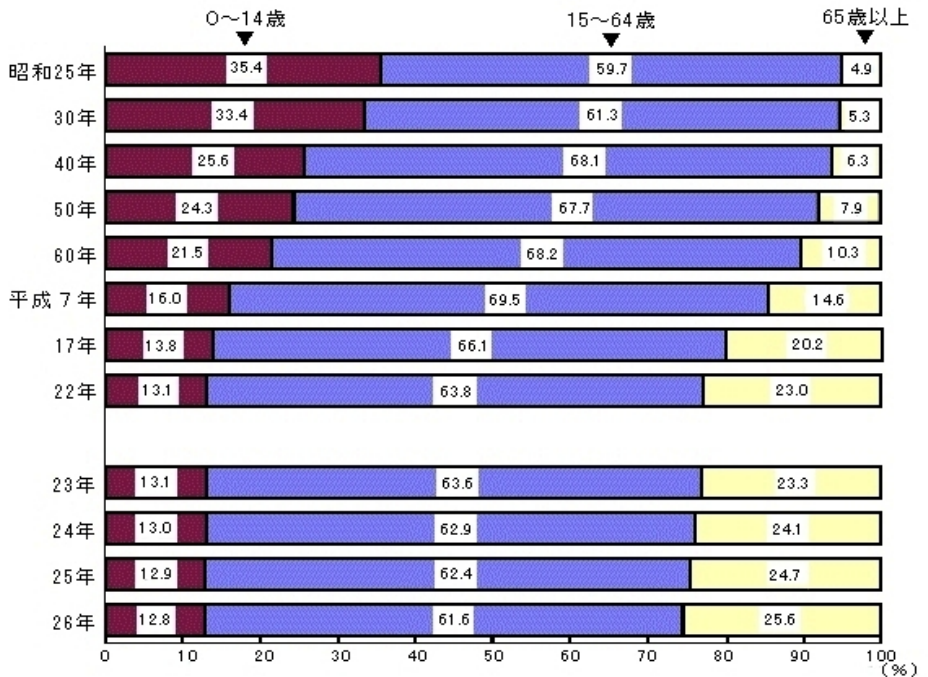
平成26年4月1日現在におけるこどもの数は、前年に比べ16万人少ない1,633万人で、昭和57年から33年連続の減少となり、過去最低となりました。男女別では、男子が836万人、女子が797万人で、男子が女子より39万人多く、女子100人に対する男子の数（人口性比）は105.0となっています。

こどもの割合は、昭和25年には総人口の3分の1を超えていましたが、第1次ベビーブーム期（22年～24年）の後、出生児数の減少を反映して低下を続け、40年には総人口の約4分の1となりました。

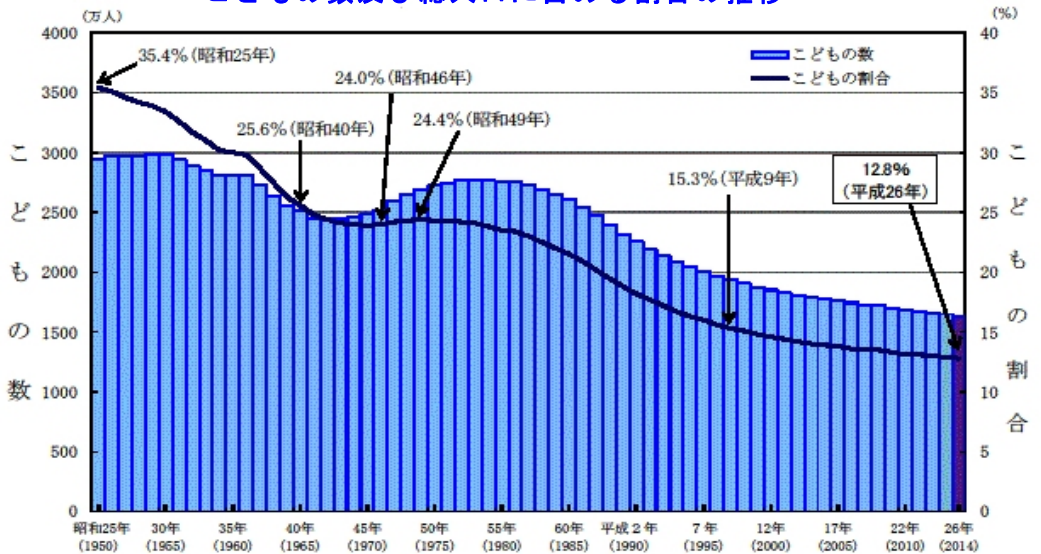
その後、昭和40年代後半には第2次ベビーブーム期（46年～49年）の出生児数の増加によってわずかに上昇したものの、50年から再び低下を続け、平成9年には65歳以上人口の割合（15.7%）を下回って15.3%となり、26年は

12.8%（前年比0.1ポイント低下） どもの割合は、昭和50年から40年連続で過去最低となりました。なお、こ 続して低下しています。

年齢3区分別人口の割合の推移



こどもの数及び総人口に占める割合の推移



総務省統計局「我が国のこどもの数」（人口推計）より